

襤褸（ぼろ）の魅力を引き出す「ノグラリアの庭」展開催

ギャラリーショップ「スペース・アルテマイスター（会津若松市本町）」では、喜多方の工房で古布を使った服作りを行う縫製作家、野口恵美子さんの展示会を開催いたします。



ノグラリアの庭 展 -BOROを育てる-

日時：2023年4月15日（土）～4月30日（日）

10：00 - 18：00 火曜定休／入場無料／無料駐車場あり

作家在廊日／4.15(土)・16(日)・22(土)・23(日)・29(土)・30(日)

会場／スペース・アルテマイスター [福島県会津若松市本町 9-23]

TEL：0242-26-4621

WEB：<https://www.space-alte-meister.jp/>

「ノグラリアの庭」という名の工房で古布を使った服作りを行う縫製作家、野口恵美子さんの展示会を開催いたします。

刺子や藍染などの方法で長く着継がれてきた布は“BORO”と呼ばれ、その価値が見直されています。代々人の手で育てられた布に向き合う野口さんが作る洋服は、軽やかさの中に凛としゃやまいが伺えます。ぜひご案内ください。

野口恵美子 / 縫製作家

栃木出身。2013年頃、独学で縫物を始め、オンライン販売にて人気を博す。2021年春より喜多方熊倉に移住。2022年、工房を構え「ノグラリアの庭」として本格的に活動を行う。

■ワンピースやワイドパンツなど約 000 点展示販売

明治・大正・昭和を中心とした着物や野良着、敷物を用い、組み合わせて仕立てていく作品は、様々な表情を見せます。襟元や袖口は手縫いで仕上げることでやわらかい表情の唯一無二の洋服が生まれます。ワンピースやワイドパンツなど約 00 点、大漁旗を柿渋で染め上げた帽子や小物 00 点の展示販売となります。

■会期中の作家在廊は毎週土日、工房の様子を映像でも。

会津平野と飯豊山を望む、古民家を改装した工房で作品づくりをされる野口恵美子さん。古布のほころびや傷に、当て布や刺繍で繕うことで生まれる表情に心ときめかせながら洋服に仕立てています。会期中には野口さんにご在廊いただく他、工房の様子を映像でご覧いただけます。



【リリースに関するお問い合わせ】

アルテマイスター（株式会社 保志） 広報担当：村上・鈴木・松留

TEL（直通）080-3129-0499 Email p-planning@e-alte.com

〒965-0844 福島県会津若松市門田町一ノ堰村東 40 TEL 0241-27-9367 FAX 0242-26-2200

<https://www.alte-meister.co.jp/>